

知行合一

「人の己れを知らざることを患（うれ）えず、人を知らざるを患う。」
【論語】は、「(人が自分を認めてくれないことを気にかけないで、自分が人を正しく認めていないことを気にかけなさい。）」

学校教育目標

潤いと輝きにあふれる学校

芦北町立田浦中学校

学校だより 第7号

令和2年8月25日

文責 校長 沖田 龍藏

自らを高め、みんなで高め合う充実の2学期に！

8月になり、芦北町内に新型コロナウイルス感染症の感染拡大の状況が見られているため、2学期の始業式を1日遅らせてスタートを切りました。新型コロナウイルス感染症対策としては、引き続き、学校での消毒をはじめ、密閉（換気）、密集、密接を避ける指導をしながら教育活動を行ってまいります。ご家庭では、生徒に検温をして登校させていただき、マスク着用を促してください。なお、風邪症状が見られるときには、無理に登校させずに、学校へのご連絡をお願いします。今年の夏休みは、例年に比べとても短かったのですが、水難事故や交通事故等の報告もなく、皆さんが元気で今日を迎えることができたことを何よりも嬉しく思います。3年生の部活動は、8月8日の女子バレー部の交流試合（1回戦 佐敷中0-2田浦中、決勝戦 津奈木・水俣一中連合2-0田浦中は準優勝）を最後に一つの区切りを付けることができました。各部活動顧問及び後援会の皆様をはじめ関係の皆様のご尽力に深く感謝申し上げます。新型コロナウイルス感染症の感染拡大が懸念される中でしたので実施できて、本当によかったです。やりきった感のある3年部活動生は引退し、夏休みの練習は、1・2年生が主体となりましたが、暑さに負けずに、陸上（チーム田浦中）と共に一生懸命に練習している姿を多く見ました。2学期は、体育大会、文化祭、子どもたちによるいじめ防止推進事業の研究発表会等、1ヶ月に一つの大きな行事があります。行事の取組や日頃の生活を通して、自らが立てた目標を着実に実行することで自信をつけてください。



さて、夏休み中は、家族でお盆の時にご先祖様のお墓参り等はできましたか？また15日は、終戦から75年目の日本の終戦記念日でもありました。8月6日、広島に原子爆弾が投下された日は登校日でした。いつものように朝から校門に立っていると、3年の男子生徒が「原爆が投下された日なので、亡くなった方へ黙とうを捧げなくていいですか。」と尋ねてきました。夕方、学校で仕事をしていると、防災無線で物故者のアナウンスがあります。子供たちは亡くなられた方へ思いを寄せる優しい心が自然に身に付いているのかとも考えました。言わずもがなですが、命ほど尊いものはありません。6日付けの熊日新聞に被爆体験の語り部である長曾我部さん（各中学校で平和学習を講演）の記事がありました。ある中学生の「戦争を体験していない私たちはどうやって平和や非核を呼びかけていくべきか。」の問いに、長曾我部さんは「思いを語るのは体験者の特権ではない。今を生きる君たちが、世界や未来のことをたくさん学んで考えてほしい。」と答えておられました。戦争については、社会科等でしっかり学んで、学んだことを生かすことが、平和をつくり、平和であり続ける上で必要です。そのため、この時期に平和の有り難さについて、家族と共に考えていくことはとても大事なことであったと思います。新型コロナウイルス感染症と熱中症対策をとりつつ、充実した2学期としていく中で、日々成長する生徒の姿を楽しみにしています。

ホームページで情報発信『[芦北町立田浦中学校](#)』で検索を町では、論語教育に力を入れています。

孔子の特に優れた弟子は、「孔門の十哲」と言われます。前期の弟子は、顔淵（がんえん）、子路（しろ）、子貢（しこう）などで、孔子の人柄に心酔し、各地の放浪に同行しています。